

## 事業中評価チェックリスト

| 番号 | 2 |
|----|---|
|----|---|

|        |   |       |       |                |  |          |                  |                            |   |  |  |  |
|--------|---|-------|-------|----------------|--|----------|------------------|----------------------------|---|--|--|--|
| 事業名    | 道路事業(改築)  |       |       | 路線・河川<br>・地区等名 | 一般県道余目松山線<br><small>あまるめまつやま<br/>しょうないばし<br/>(庄内橋工区)</small> |          |                  | 施行場所                       | 庄内町 提興屋 ~<br><small>ひさげこうや<br/>たけだ<br/>酒田市 竹田</small> |  |  |  |
| 評価該当基準 | 事業中評価実施後 5 年間を経過した時点においても継続中の事業<br>(山形県(県土整備部)公共事業評価実施要領 5-(1)-イ-(エ)) |       |       |                |  |          | 実施主体             | 山形県                        |   |  |  |  |
| 採択年度   | 事業期間  |       |       | 全体事業費(進捗度%)    |  |          | 事業延長等<br>(供用延長等) | L=1,760m<br>(うち橋梁部 L=465m) |   |  |  |  |
|        | 当初  | 前回    | 今回    | 当初             | 今回   |          |                  |                            |   |  |  |  |
| H24    | 8 年   | 18 年  | 22 年  | 50 億円          |  | 135.0 億円 | (72.0%)          | 事業概要<br>(主要工事内容)           | 橋梁架け替え  |  |  |  |
|        | (目標年度)  |       |       | 前回             | 工事費  | 126.8 億円 | (75.3%)          |                            |   |  |  |  |
|        | (H30)   | (R10) | (R14) | 90 億円          | 用地・補償費   | 1.5 億円   | (100%)           |                            |   |  |  |  |
|        |   |       |       | 測試費等           | 6.7 億円   | (92.4%)  |                  |                            |   |  |  |  |

**事業の目的(地域性・特質性)**

- 一般県道余目松山線は、庄内町と酒田市を結ぶ幹線道路で、緊急輸送道路に指定されている重要な路線。
- 庄内橋は昭和 33 年架設のトラス橋(一部鋼鉄桁橋)であり、老朽化に伴う主部材(トラス部材)の損傷が著しいため、早期の架け替えが必要とされている。
- また、車道幅員も狭く大型車同士のすれ違いについても困難であるため、橋梁を更新し、交通円滑化と安心安全の確保を図る。

**事業の実施状況**

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| ・ H23～R04 測量設計、地質調査、用地買収、<br>橋梁下部工 | ・ R05～06 上部工製作架設<br>・ R07 上部工架設、床版製作、防雪柵 |
|------------------------------------|--|

**上位計画、その他事業との関係(各上位計画で定めている項目を表すコード)**

- |                  |  |
|------------------|--|
| ・ 第 4 次県総合発展計画   | →持続可能で効率的な社会資本の維持・管理の推進 (5-5)          |
| ・ 山形県道路中期計画 2028 | →防災・減災に向けた道路の機能強化と災害発生時における対応の迅速化(施策④) |

**今後の事業の見通し**

- 令和 7 年度から橋梁床版工に着手し (R7～9)、R9 年度までの供用を目指す。

**事業を巡る社会経済情勢等の変化**

|                  |  |
|------------------|--|
| ① 国、県の政策や計画の転換等  | R7年3月:「第4次山形県総合発展計画 後期実施計画」策定<br>H31年3月:「山形県道路中期計画2028」策定(R6年3月改訂)                         |
| ② 財政状況の変化        | 道路整備の事業費が減少している厳しい状況にあるが、「緊急輸送道路の強化の推進」、また、「道路施設の長寿命化(適切な更新)」として、最優先で進めていくこととしている。         |
| ③ 事業実施地域の周辺環境の変化 | 周辺環境に大きな変化は見られない。  |
| ④ 地元の協力体制の変化     | 用地の取得も完了しており、地元協力体制は良好である。   |
| ⑤ 利用者見込み者数の大幅な変化 | 想定交通量に大幅な変化はない。  |
| ⑥ 代替方策による必要性の変化  | 用地取得は完了済みで、令和 6 年度から橋梁上部工に着手し、令和 7 年度に橋梁部については最終工事を発注済みであることから代替方策はない。<br>また、事業の必要性に変化はない。 |
| ⑦ その他            | 特になし   |

**事業の投資効果** (凡例) ● 貨幣換算し、費用便益分析における便益(B)に計上している事業効果

- 貨幣換算する手法が確立されていないものの、事業により得られる効果の例

|      |  |
|------|--|
| 投資効果 | ○ 築 67 年を経過した老朽橋の新橋への架替えにより、緊急輸送道路としての機能が向上する。 |
|      | ○ 道路幅員の確保、歩道の整備により、道路利用者の走行性・安全性の向上が図られる。      |
|      | ○ 物流機能の向上・救急医療機関へのアクセス向上が図られる。                 |

**B/C** **B/Cの代表的な分析指標**

|         |         |    |    |                         |      |
|---------|---------|----|----|-------------------------|------|
| 社会的割引率  | 当初      | 前回 | 今回 | 総便益の現在価値 (B)            | - 億円 |
|         | 4%      | -  | -  |                         |      |
| 2%(参考値) | -       | -  | -  | 総費用(事業費+維持管理費)の現在価値 (C) | - 億円 |
|         | 1%(参考値) | -  | -  |                         |      |

**●コスト縮減・○代替案等の可能性**

- 橋梁前後の道路盛土材料を購入土で計画していたが、他工区からの流用土を利用してコスト縮減を図った。
- 用地買収が完了し、現在上部工・床版工に着手済みであることから、代替案の可能性はない。

**当初又は前回評価時より事業費・事業期間が増減する理由(計画どおりの場合は空欄)**

- ・ 資材単価や労務費等の上昇および諸経費の補正増による事業費の増加
- ・ 現地状況の変化(橋梁基礎部のボイリング・噴砂等)に対応した対策工の変更に伴う工事費、事業期間の増加
- ・ 河川協議に伴う事業期間の延長

|      |      |       |                                  |  |  |
|------|------|-------|----------------------------------|--|--|
| 評価区分 | 継続 A | 評価の理由 | 事業の効果や重要性、地域の期待・協力を総合的に判断し継続したい。 |  |  |
|------|------|-------|----------------------------------|--|--|